



部長通信 第6号

2019年5月発行

2018-2019 中部部長 柴田洋治郎
(名古屋東海クラブ)

主 題 ワイズ総活躍中部

活動方針

1. EMCに注力すると同時に各クラブの実情に合わせた、個性あるクラブ作りを目指す。
2. ワイズメンズクラブの目的は、第一にYMCAへの奉仕であり、引き続きYMCAとの協働を深化させる。
3. 名古屋、三重、石川、(富山)各クラブ間の連携強化。

5月の西日本区強調月間 LT

ワイズリーダーシップ開発委員長 船木順司(京都トップス)

「リーダーシップを学んでください！クラブ、部、区、あらゆる機会にリーダーシップの学びの場があります。全てを有意義に捉え、スキルアップし、リーダーシップを身に付けてください。全てを楽しんでください。Y'sly」

部長通信第6号 中部部長 柴田洋治郎

早や私の部長職も終わりに近づいてきました。今回の稿は西日本区の求めによる6月に開催される代議員会用の2018-19活動報告を基に纏めたものです。

中部の今期の活動と問題点

今期も中部の各クラブは例会や各種行事で有意義なクラブ活動を行ってきたことと思います。詳細についてはクラブブリテン、中部部報等に掲載されているので紙面の都合上、詳細はここでは省きます。

残念ながら、EMCの面では会員増があったのは一クラブのみで、その後は減少又は今期中の解散を予定しているところもあります。更に、次々期のホストクラブ、部長の引受け手がなく相当紛糾しました。今後部内で問題解決の方策を真剣に議論し、道筋をつけることが課題として残されました。クラブの新陳代謝を図るとともに魅力あるクラブ作りに腐心し、EMCに対し全ての会員が高い関心を持って行動することが求められています。又中部は名古屋、三重、北陸の三地域の距離的ギャップがあるため、一体感のある中部を作るアイデアも必要と思われます。これには西日本区本部も巻き込んだ、クラブの再編等抜本的な対策も視野に入れる時期に来ているとも思われます。

新クラブの誕生

とやまワイズメンズクラブが去る5月11日に設立されました。ここのところ明るい話題が少なかった中部に一筋の光明を差し込んでくれ、中部を前進させる原動力にもなると期待されます。これから自クラブの成長も図りつつ、中部の他クラブとも親密に連携を図り、中部のワイズに資することも望まれます。とやまクラブは開設準備に当って、スポンサーである金沢クラブと富山YMCAを中心とした関係者の長期に亘る支援により、この度の結実に至ったものです。また地方都市の富山市におけるYMCAの存在感は相当なものとも感じられました。

YMCAとの協働

当地では、YMCAとワイズの連携は伝統的に良く機能しており、名古屋では名古屋YMCAのプログラムに地区のワイズが積極的に参加し、実効性の高いものとなっています。その中で、例えば名古屋チャリティーランは収益金額において、全国第2位、西日本に限れば第1位の成果を挙げています。企業のCSR意識の向上、マラソンブーム、健康指向の流れをうまく取り込んだことと、永年に亘り構築されてきた、YMCA、ワイズ両者の協力関係によるところ大であると思われます。このプログラムは収益金額以上に地域の企業、各種団体、個人を巻き込んで、地域社会に根差したイベントになってきました。又、62回目を迎えた、名古屋市内の約100校が参加した市内中学生バスケットボール大会もスポーツを通じ、地域の学校や生徒に認知され、YMCAやワイズが標榜する青少年育成に貢献する事業です。

これ以外にも、名古屋YMCA大会・YYYフォーラム、春・秋の根の上祭り、クリスマスカードコンテスト、クリスマスキャロルinJRセントラルタワーズ、チャリティーウォーク等の豊富なプログラムで協力しあってきました。同様に三重、北陸のワイズもYMCAとの協働を重視した活動を行っています。中部の各クラブでは、ワイズメンズクラブを一義的にYMCAのサービスクラブであることを念頭にYMCAとの協働を継続していると感じると同時にYMCAの強いブランド力を再認識させられます。

部長の役割について

西日本区定款の「部長の任務」の項には、部長は部内外の状況を絶えず把握するとともに、部内の各クラブに対し適切な指導と助言を与えるとあります。果たして自分はこの任務を遂行出来たのか、甚だ自信がありません。振返れば、次期部長の段階でもっと準備体操をしておけば良かったと反省しています。私は中部部会PRのため西日本区全ての部会には参加しましたが、もっと足元の中部にある特に三重、北陸のワイズとの交流、情報交換を進めておけば良かったと反省されます。

私は、西日本区の役員会に出るようになってから、東海ワイズメンズクラブの一会員であった時との温度差を良くも悪くも非常に感じます。15百名弱の会員を擁するワイズメンズクラブ西日本区を纏める機能としての役員会は重要なポジションであることは判りますが、果たして部長も含めた役員の考えがどこまで末端のクラブや会員に徹底されるのか、いつも疑問に感じています。勿論、ワイズの組織の中で一番重要な役割を果たすのは、各クラブであり、各会員であることは言うまでもありません。

部会について

私は西日本区全ての部会に参加しました。各部とも様々な工夫を凝らし、部会開催のための努力はひとかたならぬものと思われませんが、反面、多くの費用負担が当該部にも参加者にも生ずるのに対し、ワイズの目指す、社会貢献やボランティア活動にどれほどの効果があるのか、西日本区大会も含め少し疑問に感じています。懇親や交流も大切なことですが、改善の余地があると私には思えます。

以上